

のあちゃんの心臓移植手術が無事に成功しました！



### のあちゃんを救う会

#### 【移植手術成功のご報告】

ニューヨークから大きなニュースが届きました。

心臓移植を受けるためコロンビア大学病院で待機入院していたところ、現地時刻の5日（日本では6日）に心臓移植手術を受け無事に成功しとの報告がありました。

移植した心臓の処置のために、時間をおいて二度目の手術で開いた胸を閉じる大手術となったことから、その手術が無事に終わり安定するまでは公表を差し控えさせていただきました。

まずは、移植された心臓の提供者（ドナー）のご冥福をお祈りし、あわせてご家族に向けてお悔やみを申し上げますとともに、臓器提供という大きな決断に深く敬意を表します。分かっていることとはいえ、一つの命が失われたことによって、のあちゃんの命をつなげることができたことを決して忘れてはならないと深く感じ入るところです。

今後は術後の経過を見ながら、ICUから一般病棟に移り回復に向けて治療が続けられますが、待望の移植手術が無事に終えることができた喜びを、支援して下さった多くの皆さまと分かち合いたいと思います。

物心両面のご支援、ご声援に改めて感謝申し上げます。引き続き、のあちゃんの回復と成長を応援して下さいますようお願いいたします。

のあちゃんを救う会

共同代表 平良 誠

ご両親からメッセージが届いていますので、以下に掲載します。

..

募金をしてくださった皆様、そして救う会の皆さん、

いつも希羽の事を応援していただきありがとうございます。

また私たち夫婦にも励ましのお言葉をいただき本当にありがとうございます。

皆さまのお陰で、希羽は2月5日に無事に心臓移植をすることが出来ました。

まだ麻酔からしっかりと目が覚めていない状況ですが、移植後からずっと状態は落ち着いています。

9時間に及ぶ手術をよく頑張ってくれました。

いまはゆっくり休んで欲しいと思います。

ドナーが見つかったという連絡があったのは前日の2月4日の夜でした。

日本にいる時から1年近く移植の日を待っていたのですが、その時は思いがけなくやってきました。

知らせを受けた時はなんとも言えない気持ちになりました。

移植が出来る喜びというよりは、ドナーが見つかったということは、ひとりのお子さんが亡くなられているという現実があります。

そのご家族の悲しみを思うと喜ぶことは出来ませんでした。

わかってはいましたが、それがいざ現実になると想像以上に重いものでした。

先生からの知らせを冷静にそしてとてもおごそかな気持ちで聞きました。

ドナーになられたご家族には悲しみの中で臓器提供を決断して下さり本当に感謝の言葉しか見つかりません。

そして亡くなられたお子様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

希羽はこの先ドナーの方の心臓と共に生きていくことになります。

新しい心臓をいただき希羽が病院のベッドから出て、これからどのように成長していくのかとても楽しみです。

私たちはドナーの方のご家族の分まで希羽にたくさんの愛情を注ぎ大切に育てていくことをお誓いしたいと思います。

最後になりますが、改めてドナーの方のご冥福をお祈りするとともに、ご支援くださった皆様に心よりお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

そしてこれからも希羽のことを見守っていただけると幸いです。

どうぞよろしくお願い致します。

翁長 司

涼子